

- ◆ 会 場：柏崎原子力広報センター 研修室
- ◆ 出席委員：新野・川口・佐藤・三宮・武本・前田・牧委員 …7名
- ◆ オブザーバー：保安院／竹本所長 熊谷検査官 エネ庁／七部所長
東電／長野副所長 西田技術担当・森 GM
- ◆ 事務局：市／村山主任 広報センター／井口事務局長 石黒主事

次回以降定例会内容について

◆ 12月定例会（12月1日）

〈会長〉新検査制度について保安院から説明してもらう予定だがどうか。

〈保安院〉本院から説明させていただく。ただ、検査制度をそのまま説明しただけでは、現場でどんなメンテナンスが行われているのかなどがわからないと思うので、東京電力からも説明してもらってはどうか。

（委員 了解）

〈委員〉どこが変わって、今どうなっているのか、以前との比較などがわかると良い。

〈委員〉変えた目的、ねらいも必要。

〈委員〉ただ稼働率向上のため定期検査の間隔を13か月を15か月に延ばすというような単純な説明だけでは住民は不安になる。技術的データの裏付けがあり、まだ止めて点検しなくても安全性は十分担保できるというふうに説明してもらえればわかる。

〈会長〉あまり専門的にならないで、考え方を中心に説明してもらったほうが良い。

【決定事項】

<議題・タイムスケジュール（案）>

18:30~19:00 前回以降の動き

19:00~19:40 新検査制度について（保安院）

19:40~20:00 新検査制度についての取り組み（東京電力）

20:00~21:00 質疑応答

21:00~ その他

◆ 1月定例会（1月12日）、2月定例会（2月2日）

〈会長〉1月は2月（情報共有会議）に向け活動の総括や今後どうするかという話をしていきたい。詳細はまた検討したい。

（委員 了解）

【決定事項】

- ・ 詳細は次回運営委員会で協議する。

県外視察アンケートについて

〈会長〉一般委員8名から回答あり。運営委員の意見もこれに加えて協議したい。

アンケート結果では、再開の是非について「必要ない」との回答はない。運営委員会として、再開を提案しているので再開の方向でアンケートをもとに内容を詰めていきたいがどうか。

(委員 了解)

➤ 視察先について

浜岡 (3名)、玄海 (2名)、東京電力本社 (2名)、女川 (1)、志賀 (1)、ほか

〈委員〉浜岡は以前も希望があがったが視察不可だった。

〈委員〉時間的制約や予算などを考慮すると女川か志賀あたりが良いのではないか。

〈委員〉同じ条件であるなら時間的により近い志賀の方が良いのではないか。現実的。

(委員 了解)

〈委員〉柏崎刈羽と同じく地震を経験した発電所であるし、耐震設備を見ることで柏崎刈羽との比較ができるのではないか。また、直したタービンを見たり、可能なら地元との意見交換もできたら良い。

➤ 視察時期

6月～9月 (2名)、10月 (1名)、11月 (1名) ほか

〈委員〉この意見を参考に、実際に視察に行く委員で決めた方がいいのではないか。

(委員 了解)

視点44号 (第88回定例会分) について

- ・ 防災についてのディスカッションであったが、7号機漏えい燃料の件についての質疑も多かったので項目をわけて記載する。
- ・ 事務局案を読みやすくして校了。

その他

○委員質問について

- ・ 次回定例会にて回答してもらう。

○次期委員選任に関する意向アンケートについて

- ・ アンケートを実施する。回答期限は1月運営委員会まで。
- ・ 旧西山町、刈羽村には事務局を通じて意向を確認する。

次回運営委員会

12月15日 (水) 18:30～